



芙蓉

教育目標「立志・鍛錬・協調」

円滑なコミュニケーション

校長 木村 知広

令和7年度の教育活動も残りわずかとなりました。今年度一年間を振り返ると、皆さんが一生懸命に努力する姿、仲間を思いやる姿、支え合う姿、笑顔など、本当に素晴らしい姿に数多く出会うことができ、とても嬉しかったです。そして、『自律・自立・協働』を大切にしてきたおかげで、大きな事故・トラブルなく学校生活を送り、一人一人大きく成長できたと実感しています。皆さんの努力に対して、改めて感謝いたします。ありがとうございました。



また、9年生が、全員無事に次の進路先を決めることができたことは、大変嬉しいことですし、改めて最後まで後輩に対して背中を手本を示すことができた9年生の皆さんが誇らしいです。本当によく頑張りました。ありがとうございました。

さらに、このように生徒一人一人が立派に成長できたのは、ひとえに保護者・地域の皆様のご支援のおかげです。一年間のご支援・ご協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。

さて、3学期始業式には、今学期は翌年度の0学期と位置づけて、様々な準備をしていきましようと思いましたが、どこまで準備ができましたか。例えば、今年一年間の自分自身の行動と心情を広い視野から振り返り、今後の目標を定めることは、しっかり準備してほしいと思います。また、新学期といえば、新しい出会いがありますから、良いスタートをきるためには、円滑なコミュニケーションをとれるよう考えておくことも大切です。そこで先日の朝礼でもお話しましたが、改めて心理学の「メラビアンの法則」を紹介します。



人が相手とコミュニケーションをとるとき、「相手がどんな気持ちでいるか」を判断する情報源は、次のような割合になると言われています。

視覚情報（表情・目線・しぐさなど）：55%

聴覚情報（声のトーン・話すスピード・大きさなど）：38%

言語情報（話している言葉の内容そのもの）：7%



実は、私たちが話している「言葉の内容」は、たったの7%しか相手に影響を与えていないのです。残りの93%は、「どんな表情で」「どんな声のトーンで」話しているか、という「非言語（言葉以外の部分）」が占めています。例えば、「いいよ」というたった3文字でも、笑顔で明るい声で言うのと、うつむいて低く暗い声で言うのとでは、受け取る印象が全く違うと理解できるかと思えます。しかし、現在普及しているSNSでのメッセージのやりとりは、たった7%の影響しか与えない言葉だけのやりとりなので、不安になったり、相手を誤解させたりと、相手に対して意図を上手に伝えることが難しくなっています。このようにSNSでのやり取りが難しく、誤解が生まれやすい理由は、この「93%の言葉以外の情報（相手の表情や声）」がスッポリと抜け落ちてしまっているからなので、円滑にコミュニケーションを図るためには、十分に注意する必要があります。

特に新しい環境がスタートする9年生は、SNSのやり取りは手軽で便利だけど、実は「自分の本当の気持ち」が相手にとっても伝わりにくいツールということをよく理解してほしいと思います。

では、新しい環境の中でより円滑なコミュニケーションを取るためにはどうすればよいでしょうか。円滑なコミュニケーションの主役は、「メラビアンの法則」から分かるとおり、皆さんの「表情」や「声」なのです。相手とより良い関係を築きたいという気持ちを表情と声にのせてみてください。例えば、明日から次のようなことにチャレンジしてみませんか。

- 挨拶をするとき、相手の目を見て、少しだけ口角を上げて（笑顔で）みる。
- 「ありがとう」を伝えるとき、いつもよりワントーン明るい声で言う。
- 友達の話をするとき、スマホや別の場所から目を離して、しっかりとうなずいてみる。



このようなほんの少しの工夫が、あなたの温かい前向きな気持ちをしっかりと相手に届けることにつながります。また、気持ちを表情と声にのせる以外にも、「相手を尊重して、自らの考えを丁寧に伝える」「状況に応じて伝える手段を考える」「話しやすい雰囲気をつくる」など、様々な工夫があります。ぜひ積極的に取り入れて、みんなの心が通じ合う、温かいコミュニケーションの輪を、明日からさらに学校中に広げていきませんか。そして、より良いコミュニケーションを図るための様々な工夫を自分のものにして、新しい出会いでも活かしてほしいと思います。

最後に、9年生の皆さん、改めて皆さんの三年間の頑張りに感謝いたします。ありがとうございました。この赤塚第二中で学んだこと、経験を活かして、新しい環境でも頑張ってください。皆さんの今後のご活躍と、そしてそれぞれが思い描く幸せを実現させることを期待しています。本当に三年間、ありがとうございました。

自転車の交通反則通告制度（青切符）の導入

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/cycle_kaisei.html (←クリック)

東京都内では自転車関連の交通事故が増加しており、交通ルールを守らない一部の自転車利用者への苦情等も多く寄せられています。このような状況を踏まえ、2026年4月1日に道路交通法が改正され、警察官が自転車の交通違反を認知した場合、基本的には指導警告を行います。悪質・危険な違反であったときは16歳以上の自転車運転者に対して、信号無視やスマホ「ながら運転」等の違反に反則金（青切符）が導入されます。

青切符により検挙される違反例

信号無視：6,000円 一時不停止：5,000円 右側通行・通行区分違反：6,000円

携帯電話使用等（保持）：1万2,000円 制動装置（ブレーキ）不良：5,000円

警察庁では、制度改正の趣旨を広く理解していただくとともに、安全・安心な自転車の利用に役立てていただくことを目的として、「自転車を安全・安心に利用するために—自転車への交通反則通告制度（青切符）の導入—（自転車ルールブック）（PDF）」を公開しています。下のリンクからご確認ください。

https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/portal/pdf/guide_traffic-rules.pdf

交通ルールを守ることは、自他の生命を守ることもつながります。ぜひ、しっかり守ってください。



生徒の活躍

- 第65回中学校書き初め紙上展 金賞
- 第29回目白ロードレース 中学生女子団体戦 優勝
- 板橋区バドミントン1年生研修大会 男子ダブルス 第三位



学校行事等のお知らせ

本校ホームページの赤二中日記では、学校行事等の様子を公開しています。右のQRコードもしくは下記のURLからご確認ください。また、玄関にも生徒の活躍等をサイネージとして公開しています。ご来校の際にはぜひご覧ください。

<https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog>



赤二中日記